



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 25 年 6 月 22 日(土)
鶯川保育園へ行ってきました 編

6月22日(土)三種町にハイゼックスシートを使った被災食作りに行ってきました。場所は鶯川保育園(園児 101名)でした。午前8時に能登祐子さんと2人で出発。到着して、園長先生から園の説明と日程についてのお話を伺い、すぐ調理室で作業にとりかかりました。

作ったのは、白いご飯を3本、カレーピラフ3本、ケチャップごはん2本、お粥が2本、甘納豆入りホットケーキ蒸しパン4本。時間が限られていたため大急ぎの袋詰めとなりましたが、予定時間のうちに無事完了しました。

この日は参観日で、元気いっぱいの園児たちとお父さんお母さん、お兄さんやお姉さん、おばあさんたちおよそ200名の参加で大賑わい。広々とした園内でいろいろの遊びで家族の交流を楽しまれました。

その後、講堂に全員が集合して、園長先生から上町すみれ会の紹介をしていただき、続いて能登さんによる上町での避難訓練や被災食づくりの実演、避難袋の説明などが行われました。また、保育園の先生から緊急時に役立つレジ袋を利用した簡易のオムツ作りの説明があり、その意外な手法に皆がびっくり。

試食タイムではハイゼックスシートで作ったごはんやおやつを紙皿にとり分けて、ふりかけごはん、カレーピラフ、ケチャップごはん、蒸しパンを食べていただきました。ほとんどの方が初めてのようでしたが、思いのほか「おいしい」という感想をいただきました。時間を気にしながらの作業でしたので、とてもホッとしました。

参加したご家族には保育園の資料の中に、ハイゼックスシートがとじ込まれており、ぜひご自宅で作ってほしいと、園長先生のお話がありました。私たちも今後子ども会の野外活動や大勢で集まった時など、いろいろ工夫してハイゼックスシートを試して使っていただけたらとてもうれしいです。

その後、皆で「救急車のうた」を歌ったり、先生方による寸劇風のお話がありました。また、保育園備え付けの自家発電機の動かし方の実演を見せていただき、お父さんお母さんが実際に動かして電気をつけていました。いとも簡単に動かす様子に拍手喝采！いざという時どうすればいいのかの確認や質問をしたりなど、とても充実した楽しい会でした。

そして最後に、ハプニングが！！お別れの会の最中に予告なしの非常ベルが鳴り、「地震です！」の声。とっさに園児がテーブルの下に隠れたりする様子に感心させられました。

園長先生のお話では、毎月1回さまざまな事態を想定しての避難訓練が行われており、何があっても落ち着いて先生の指示に従って行動できる園児であってほしいとのことでした。普段からの訓練の積み重ねがとても大切だと、再確認した一日でした。

文：相澤 レイ子



すみれ会担当方も皆さんのお昼になるということで、職員の方と一緒に準備をしました。時間内にできるかドキドキ。



200人というたくさんの方々参加され、交流会を楽しんでおられました。



できあがったご飯は色どりもきれいで、おいしく召し上がっていただけました。



先生方のデモンストレーションや質問などを通して災害時の対応について再確認できることは大事ですね。